

# みんなで作ろう 安心の街

令和2年10月号 No. 75  
(公財) 宮崎県防犯協会連合会

## 令和2年「全国地域安全運動」の実施

### ☆目的

防犯協会を始めとする地域安全に資する関係機関・団体及び警察が、期間を定め、地域安全活動を更に強化するとともに、その相互の連携を一層緊密にすることにより、地域安全活動の効果を最大限に上げて一層の浸透と定着を図り、もって安心して暮らせる地域社会の実現を図ることを目的に全国一斉に実施するものです。

### ☆期間

令和2年10月11日（日）から同月20日（火）までの10日間

### ☆運動重点

#### 【子供と女性の犯罪被害防止】

子供と女性を狙った犯罪の認知件数については、依然として高い水準にあります。子供や女性を狙った犯罪は、ひとたび発生すれば被害者や家族の心身に深刻な影響を及ぼすのみならず、地域社会に著しい不安を生じさせます。

青パトによる防犯パトロールや、子供の登下校時間に合わせてウォーキング、犬の散歩、買い物などを行う「ながら見守り」など、出来る範囲で活動が続けることが地域の安全につながります。

#### 【特殊詐欺の被害防止】

全国における昨年中の特殊詐欺の認知件数は1万6,851件、被害総額は約316億円となるなど、依然として深刻な状況が続いています。

オレオレ詐欺の被害者の約8割が「だまされない自信がある」という過信から、誰にも連絡や相談をしないまま被害に遭っている実態があります。一方で、詐欺を見破った人は、だましの電話を受けた後に家族や周囲の人に話をし被害が防止されています。

「自分はだまされない」と過信せず、一旦電話を切って、家族や警察に相談しましょう。

#### 【鍵かけの徹底による乗り物対象の盗難被害防止】

本県における本年7月末現在の自転車盗の認知件数は516件と、前年同期より49件減少していますが、うち364件（約70%）が無施錠による被害です。

車上ねらいの認知件数も103件と、前年同期より34件減少していますが、うち81件（約78%）が無施錠による被害という実態です。

また、自動車盗の認知件数は、増減なし、オートバイ盗の認知件数は、前年同期より減少しているものの、盗難後に「強盗」や「ひったくり」に使われるおそれもあります。

自転車など乗り物を離れるときは、わずかな時間でも鍵をかける習慣をつけましょう。

## 地域住民と企業・団体が連携した防犯活動の推進

地域住民による防犯活動は盛り上がりを見せています。しかし、その活動人員や活動時間、活動経費等には限界があります。そこで、地域の安全・安心なまちづくりの輪にある企業・団体の地域防犯活動への参加・協力が求められています。

県内における企業・団体の防犯活動として、

- 社用車に「防犯パトロール中」のステッカーを貼付しての防犯活動
- 児童生徒の登下校時間帯の見守り活動
- 防犯のための街頭キャンペーンへの参加
- 防犯のための環境美化活動（通学路の清掃など）
- 防犯のぼり旗・看板設置による防犯広報
- 会社の広告紙を活用した防犯情報等の掲載

等が行われ、安全な地域社会づくりに大きく貢献しています。

地域住民と企業・団体が連携した防犯活動を推進し、地域を見守る目を強化しましょう。

◇「地域の安全は地域で守る」を合言葉に、みんなで防犯活動に取り組みましょう!!